



インパクト  
コンソーシアム

第5回 運営委員会

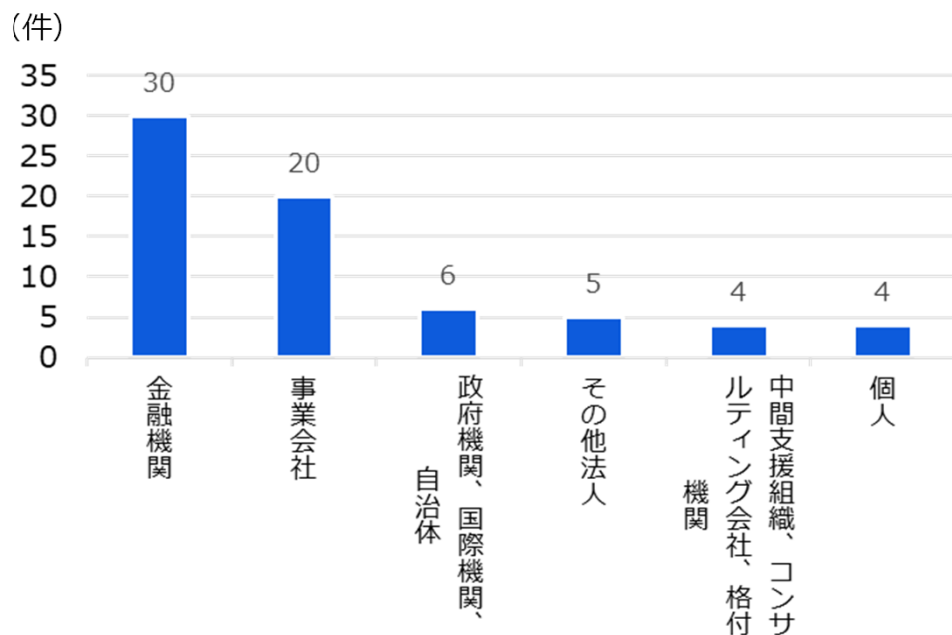
# インパクトコンソーシアム会員向けアンケート結果概要

2025年3月6日

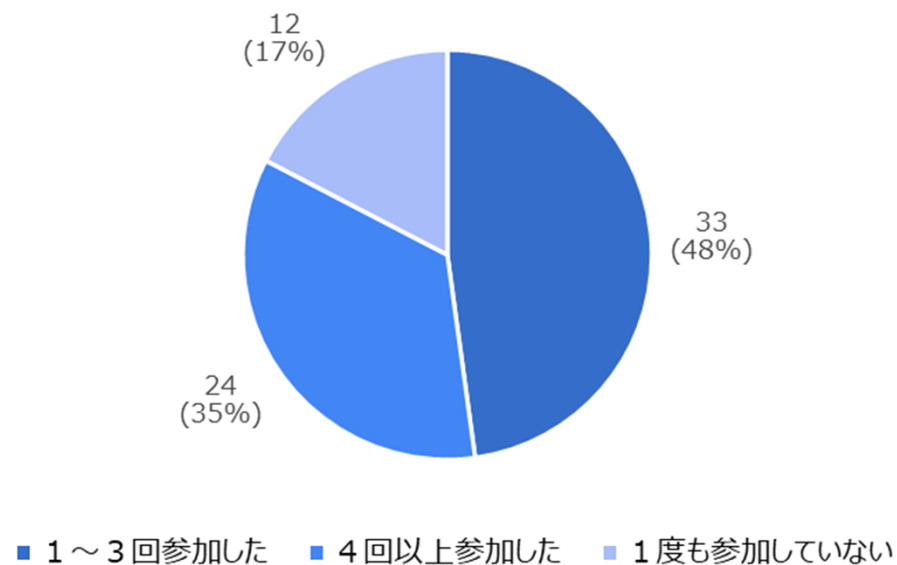
水口 剛      インパクトコンソーシアム会長

# インパクトコンソーシアム 会員向けアンケート 実施概要

- 趣旨・目的  
インパクトコンソーシアムの今後の活動の参考
- 実施要領  
【期 間】 2025年2月5日～2月14日  
【形 式】 オンライン
- 項目項目（概要）
  1. コンソーシアム全体について
  2. 分科会の活動について
  3. 各社・個人の取組状況について
- 回答数：計69件
- 回答者属性



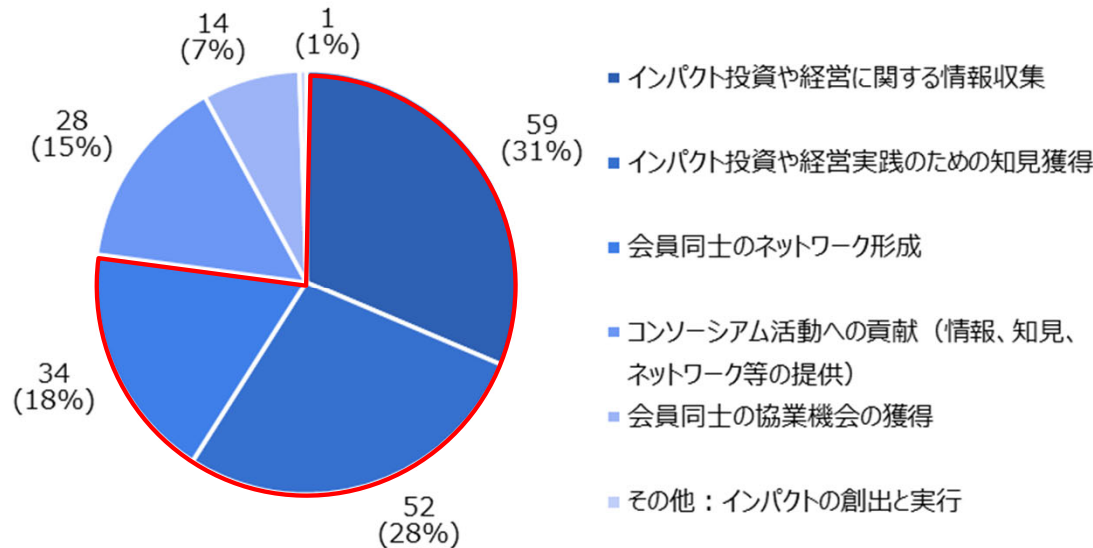
## □ 回答者の分科会への参加状況



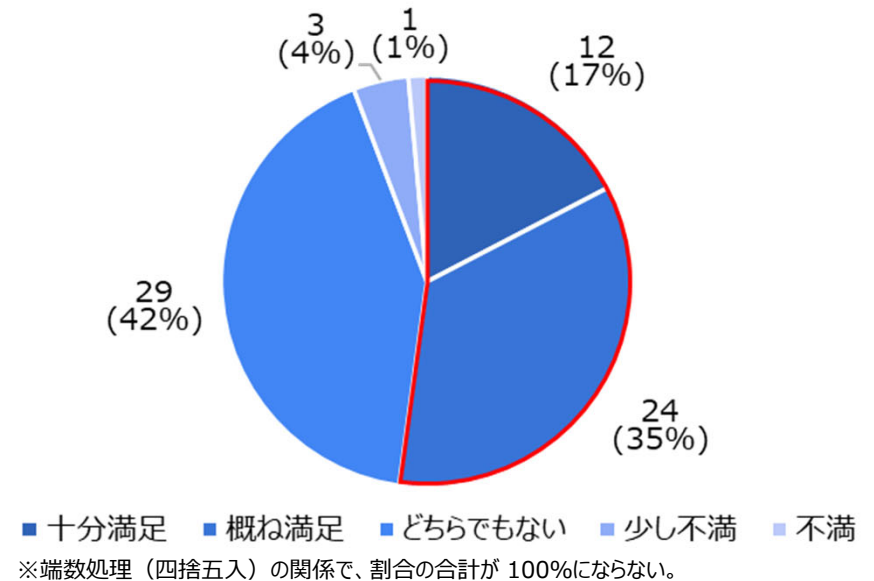
# 1. コンソーシアム全体について（コンソーシアムへの参加目的・満足度）

- コンソーシアムへの参加目的は、**インパクト投資や経営に関する情報収集及び実践のための知見獲得が約 6 割**を占め、**会員同士のネットワーク形成が約 2 割**を占めている。
- 参加目的に照らした満足度については、「**十分満足**」・「**概ね満足**」が約 5 割を占めている（「**どちらでもない**」の回答理由について、参加できていないことを理由とする回答が約 4 割を占めている）。

【コンソーシアムへの参加目的】（複数回答可）



【参加目的に照らした満足度】



【参加目的に照らした満足度に関する回答理由】（一部回答抜粋）

## <十分満足・概ね満足>

- インパクト領域の第一人者や先駆的な活動をしている企業が参加しており、良い情報収集の場となっている。
- 他の会員がインパクト投資についてどのような課題意識を持ち、取組を行っているかについて共有いただけるのは大変参考になる。

## <どちらでもない>

- あまりまだ参加できていない。 ※参加できていないことを理由とする回答が約 4 割。
- 様々な有識者の意見を知ることができ参考になる一方、議論中心で 1 回の時間が長く、リアルタイムでの視聴が難しいことも多い。
- 官民連携の場としての役割を期待していたが、これまでは民間事例の共有が中心の運営になっていると感じている。

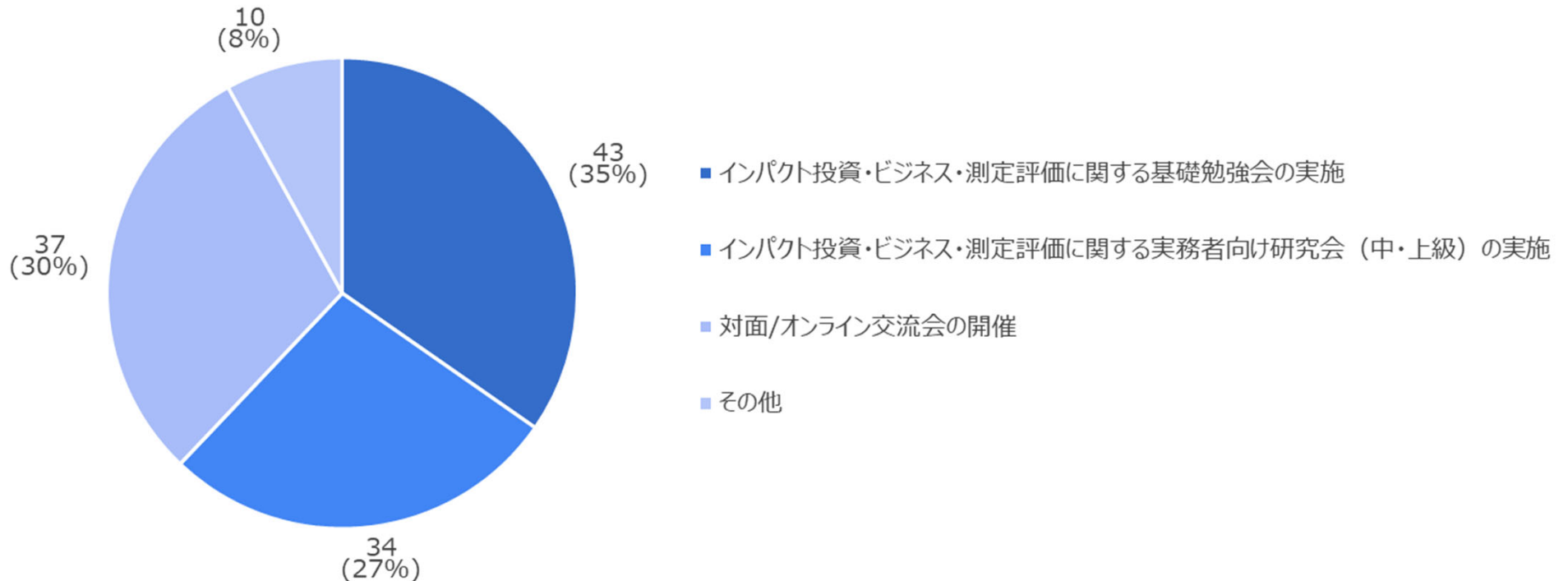
## <少し不満>

- 勉強会や事例共有ばかりであり、一緒に何かをやろうといった動きや提案がこの 1 年なかなか無かった。

# 1. コンソーシアム全体について（今後のコンソーシアムに対する要望や期待）

□ 今後のコンソーシアムに対する要望や期待として、**インパクト投資等に関する勉強会・研究会の実施が約 6 割**を占め、**対面/オンライン交流会の開催が約 3 割**を占めている。

【今後のコンソーシアムに対する要望や期待】（複数回答可）



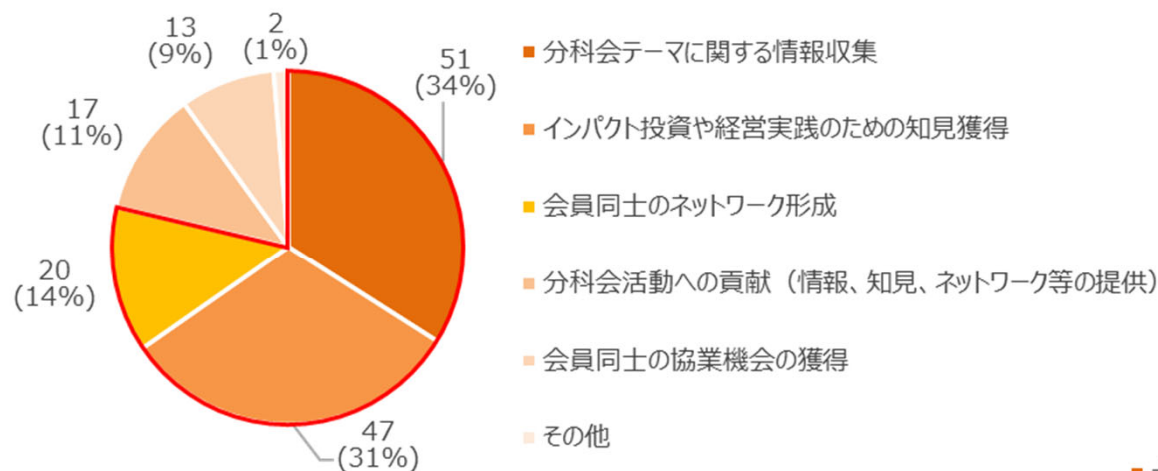
<その他（自由回答）>（一部回答抜粋）

- いかにインパクトを創出し、実践できるかについて議論できる場であることを期待。
- 最新の市場・規制動向等に関する官からの情報連携を期待。
- 官民連携の促進。
- 必ずしも定まった定義のないインパクト投資・経営の概念の整理についての議論・発信。インパクトに関するイニシアティブが国内外で数多くある中、本コンソーシアムの位置づけをより明確にしていだけるとありがたい。
- 産官学民が集まり、様々な課題解決の可能性を有する取組であるため、細かい方法論というよりも、インパクト投資・ビジネスの拡大に向けたボトルネックの解決に関する議論に重点を置く方が良いのではないかと。また、それに向けては、幅広いネットワーキングが有効な可能性がある。

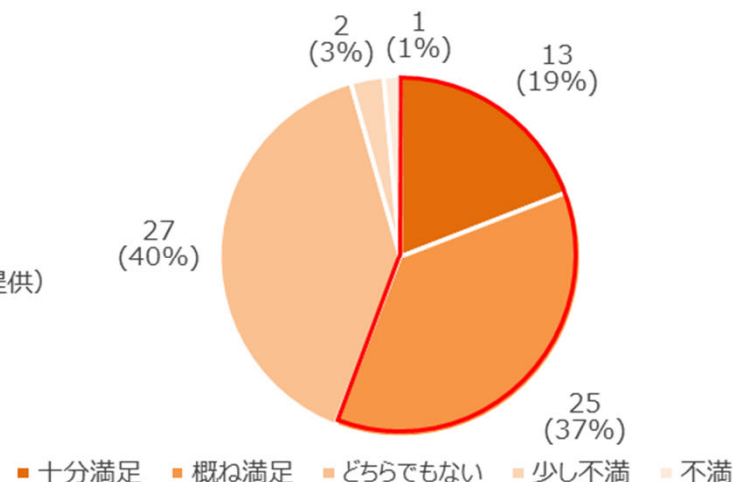
## 2. 分科会の活動について（分科会への参加目的・満足度）

- 分科会への参加目的は、**分科会テーマに関する情報収集及びインパクト投資や経営実践のための知見獲得が約6割強**を占め、**会員同士のネットワーク形成が約1割強**を占めている。
- 参加目的に照らした満足度については、「**十分満足**」・「**概ね満足**」が**約5割強**を占めている（「**どちらでもない**」の回答理由について、参加できていないことを理由とする回答が約5割を占めている）。

【分科会への参加目的】（複数回答可）



【参加目的に照らした満足度】



【参加目的に照らした満足度に関する回答理由】（一部回答抜粋）

### <十分満足・概ね満足>

- 現時点の課題、想定される解決策について学ぶことができた。
- ディスカッションの時間が多く、知識のブラッシュアップや再構築に有用。
- 金融機関だけの議論では出てこない論点もあり大変学びになる。また、具体的な活動についての議論も活発であり、単なる取組紹介だけでなく前に進もうとしている議論を実感できる点を評価。

### <どちらでもない>

- あまりまだ参加できていない。 ※参加できていないことを理由とする回答が約5割。
- 官民連携の場としての役割を期待していたが、これまでは民間事例の連携が中心の運営になっていると感じている。
- 自身の知見が追いついていないのか、自社へ反映させるイメージが湧かない。

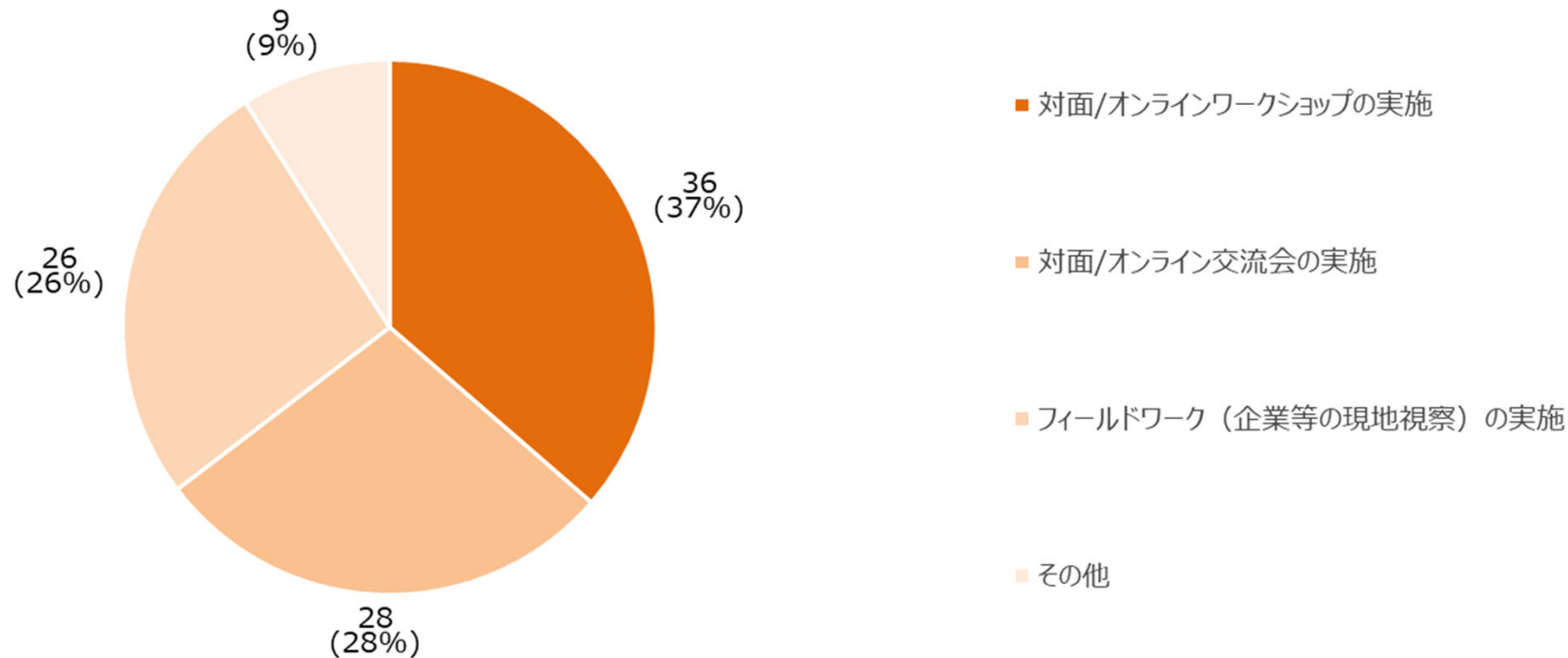
### <少し不満>

- 特に交流の場がない。

## 2. 分科会の活動について（今後の分科会に対する要望や期待）

- 今後の分科会に対する要望や期待として、**対面/オンラインワークショップ・交流会の実施が約 6 割強**を占め、**フィールドワーク（企業等の現地視察）の実施が約 2 割強**を占めている。

### 【今後の分科会に対する要望や期待】（複数回答可）



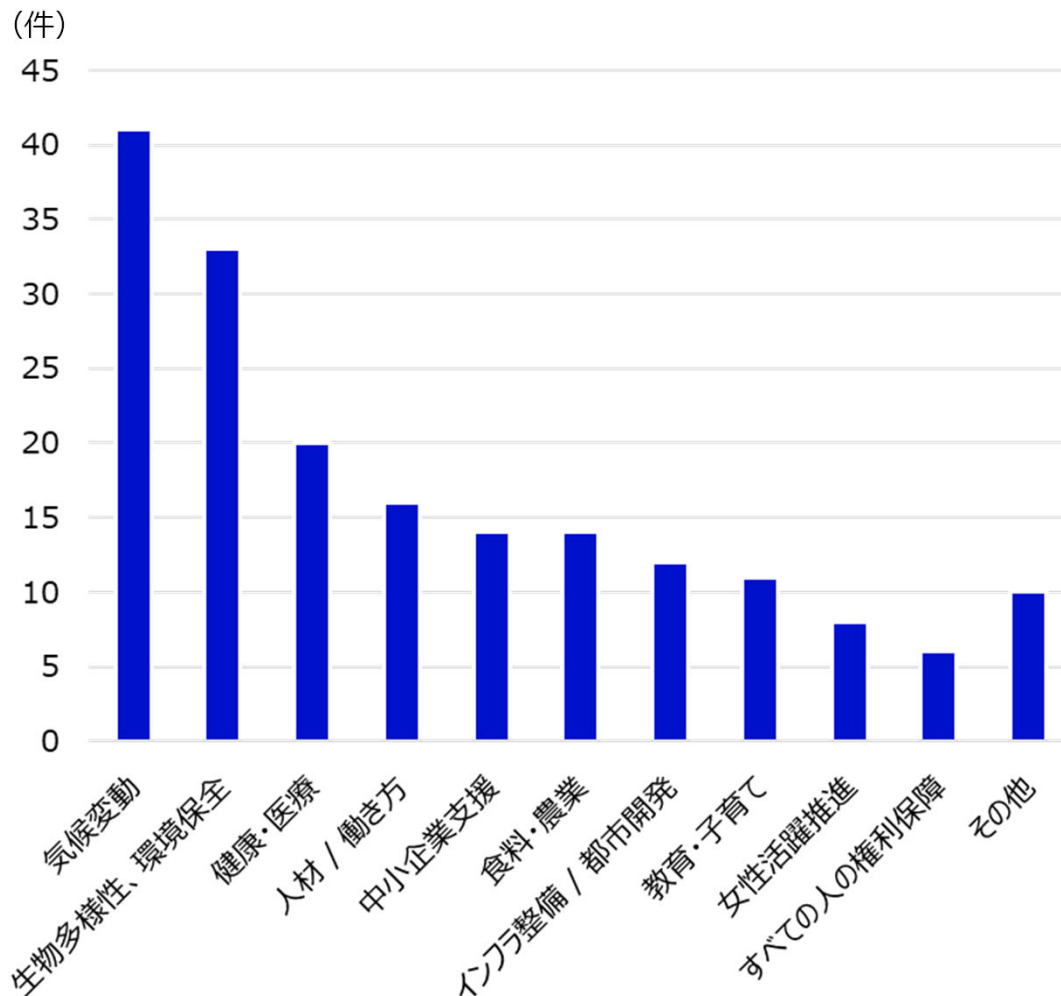
### <その他（自由回答）>（一部回答抜粋）

- それぞれの取組主体がイメージする「インパクト」の定義等は様々であるため、まず初めにインパクトをどのように捉えているのかをイメージさせた上で、実践例・実務例を紹介するのが良い。例えば、「投資先・投資家・ステークホルダーとのコミュニケーション」、「社内でのインパクト（投資）施策の落とし込み過程」、「様々な過程において苦労したこと」等、実務をイメージさせる内容が考えられる。
- 最新の市場・規制動向等に関する官からの情報連携を期待。
- 分科会での議論内容の積極的な発信。

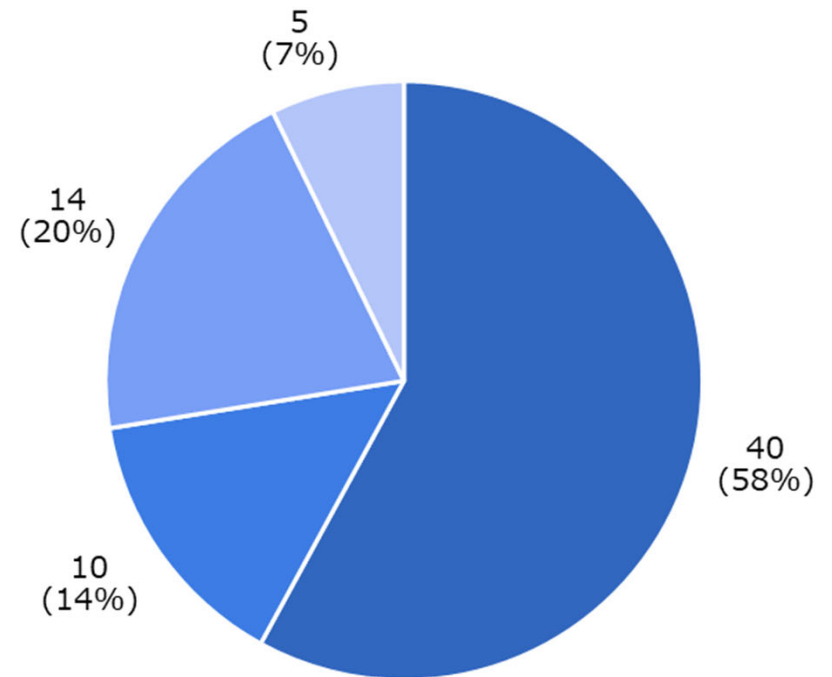
### 3. 各社・個人の取組状況について（関心の高い課題・取組状況）

- 関心の高い課題として、**気候変動、生物多様性・環境保全、健康・医療等**が挙げられている。
- 直近1年におけるインパクトに関する取組状況について、「既に具体的な計画のもとで、取組に着手した」が約6割、「まだ取組に着手していないが、具体的な計画を立てている」・「まだ取組に着手していないが、今後計画を考える予定がある」が約3割強を占めている。

【関心の高い課題】（複数回答可）



【直近1年におけるインパクトに関する取組状況】



- 既に具体的な計画のもとで、取組に着手した
- まだ取組に着手していないが、具体的な計画を立てている
- まだ取組に着手していないが、今後計画を考える予定がある
- 現状は取り組む予定はない

※端数処理（四捨五入）の関係で、割合の合計が100%にならない。